

【総合・小6・「見つけよう、未来の自分」】①

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

友達におすすめの職業を伝え合うことを通して、自分のよさを見つめ直し、職業に対する見方を広げることができるようにする。

ICT活用のポイント

スタディ・ログ（学習履歴）を活用しながら対話することにより、自分のよさに気づき、新たな職業への見方を得ることができる。

【つかむ】

- ・ 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。

【追究する】

- ・ 職業の特徴や友達のよさを確かめ、友達にすすめる職業を考える。
- ・ グループの友達とおすすめの職業を伝え合う。

【まとめる】

- ・ 自分や職業について考えたことを振り返る。

事例の概要

- 様々な職業を調べてきたことや友達と長所を伝え合ってきたことなどを振り返るとともに、本時では今までの学習を生かし、友達のよいところをもとにおすすめの職業を考え、伝え合うという本時のめあてを確認する。

【事例におけるICT活用の場面①】

- タブレットに蓄積された職業分類表や友達のよいところが書かれたワークシートを見ながら、友達にすすめる職業を考える。

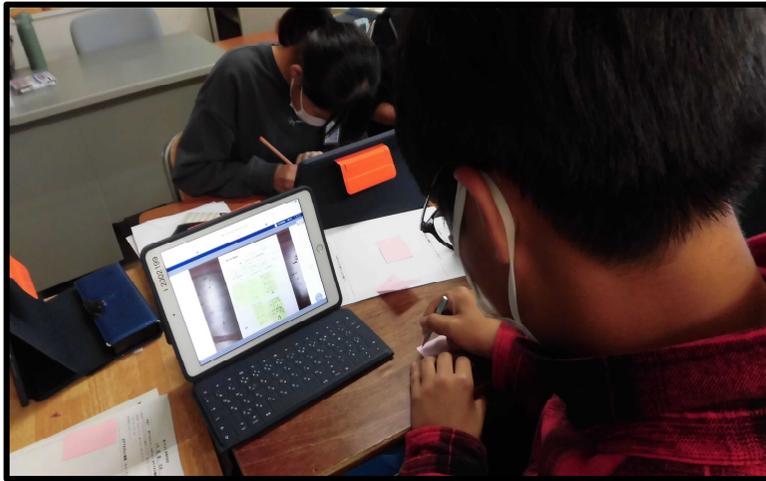
【事例におけるICT活用の場面②】

- 今までの学習を生かし、考えた友達へのおすすめの職業を伝え合う。その際、職業の特徴や友達の長所に触れながら伝え合う。

- これまでに自分で選んできた職業と、本時で友達にすすめられた職業を比較し、考えたことや感じたことなどをワークシートにまとめる。

【総合・小6・「見つけよう、未来の自分」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【場面①】学習支援ソフトによるスタディ・ログ(学習履歴)の活用

友達へのおすすめの職業を考える場面において、学習支援ソフトに蓄積してあった前時までの学習内容（職業分類表や友達のよいところ）と関連させながら、おすすめの仕事を考えて。

児童にとって、学習支援ソフトを活用することで今まで学習してきたことをすぐに確認することができる。児童はタブレットを見ながら、それぞれの職業に向いている人のキーワードや友達の長所などをふまえ、おすすめの仕事を考えることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】



【場面②】伝え合う際の根拠となるスタディ・ログ(学習履歴)

A児: Bさんのおすすめの職業は、〇〇です。

(B児: おー！

何で、何で?)

A児: Bさんは、正義感があるから！

場面①で考えたおすすめの仕事を手伝って伝える場面において、タブレットを活用しながら伝えた。

友達の質問に対して、今までの学習を振り返りながら説明している児童もあり、スタディ・ログ(学習履歴)が根拠となって、より説得力のある説明をすることができた。

【活用したソフトや機能】

ICT端末

学習支援ソフト(情報共有機能)